



Voices from Students and Professors 2013

CLOSE UP

法・政治設計の専門家として国際的に活躍できる力を養う教育プログラム

名古屋大学大学院法学研究科が築きあげてきた国際的ネットワークを活かし、法整備支援プロジェクトの現場を活用しながら、国境を越えて、魅力ある制度を構想・設計できるリーダーの育成を目指します。

夏期インターンシップに参加して 岡野 直幸 法学研究科 博士前期課程2年

夏季インターンとして、ワシントンDCの世界銀行本部に一ヶ月半ほど滞在する機会を得ました。仕事では私の研究分野でもある政治腐敗に特化した法務部の一部門に所属し、リサーチプロジェクトの一端を担わせて頂きました。国際機関で多国籍なチームがどうやって政策を構築し、その過程にいかに関与し、研究成果が実際の支援の現場にどのように反映されるのか。そのプロセスの一端を垣間見ることで、研究・キャリアをさらに現実的に、具体的に考えられるようになりました。本プログラムでは、インターンの渡航先、及びインターンの具体的内容を、研究関心・キャリアプランに合わせて自ら設計することが求められています。事前に詳細な計画を作成することにより、目的意識を持ち現地で行動することができ、結果として国際機関で個性を発揮する源泉になりました。学生の中にはすでに具体的な研究目的のためにインターンとして現地調査を行ったものもあり、帰国後お互いに学び合うことで、さらに知見が深まりました。



VOICE



堀井 穂子
法学研究科 博士前期課程1年



Sun Wen Jia
法学研究科 博士前期課程1年



Sean McGinty
法学研究科 特任講師

主体性が発揮できる教育体制

これは、自分のやりたいことができる環境を整えてくれるプログラムです。指導教官だけでなく、自分次第で他の教官と意見を交わすこともでき、またアジア言語もほぼマンツーマンで指導が受けられる、手厚い指導体制。夏には自分で探したインターンのために資金が出たり、自分が授業を受けたい教授を世界のどこからでも呼んでもらえるという柔軟な制度。法整備支援分野のリーダーになるために、ここ以上に相応しい場所は無いと思います。

多文化を調和して、国際的なリーダーを目指す

少人数で、メンバーの国籍も文化も別々です。違う国から、違う習慣を持つメンバーと交流できるだけでなく、相手を尊重し、協力しあって、勉強と研究を順調に進めるために必要なことを学ぶことができます。最初は大変そうに見えますが、だんだんと楽しさを感じられるようになってきました。国際的なリーダーとしての能力を高めるという目標を持つ若い人たちにとって、このプログラムは素晴らしい選択だと思っています。

Leaders for Tomorrow

The Leading Program gives students an opportunity to do research on cross-border legal institutional design with peers from a variety of legal jurisdictions and backgrounds. They will learn to develop legal and policy reform proposals drawing on the most recent theoretical scholarship in the field.



中国人民大学で開催されたインターナショナルフォーラムにおけるセッションの様子



国際シンポジウム「法整備支援から法協力へ」(2012年12月9日)における本プログラム紹介の様子